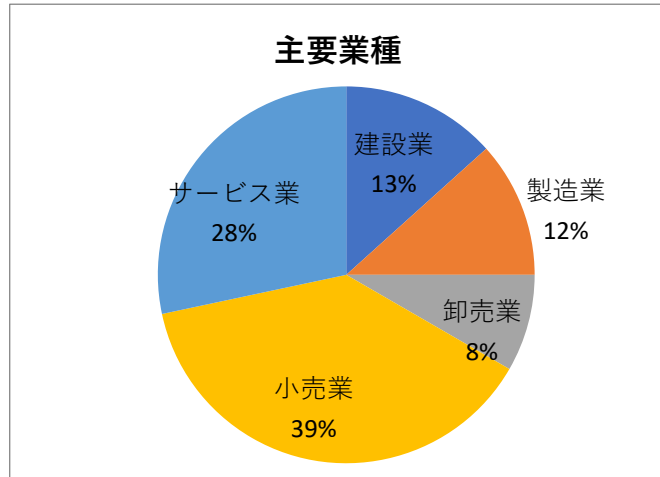


高山商工会議所 景況調査報告 (R1.7~9)

- 【調査目的】 本調査は、当所会員事業所の景況を把握するために実施した。
- 【調査期間】 令和元年8月下旬~9月下旬
- 【調査対象】 当所会員事業所
- 【調査方法】 当所職員による会員事業所巡回訪問・窓口相談による調査
- 【回答数】 60件

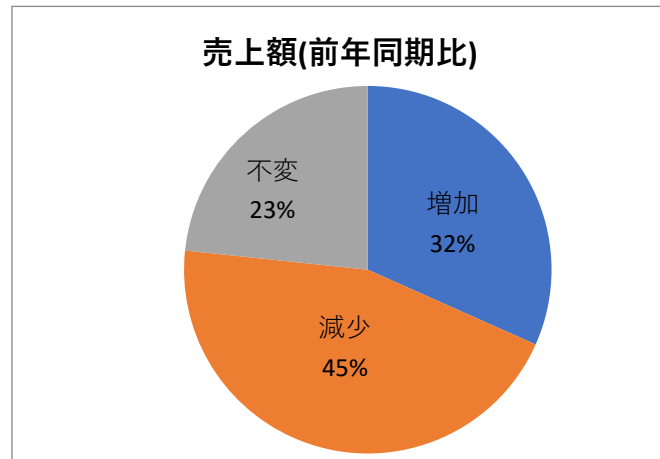
調査事業所の業種について

建設業	8
製造業	7
卸売業	5
小売業	23
サービス業	17
その他	0
合計回答数	60



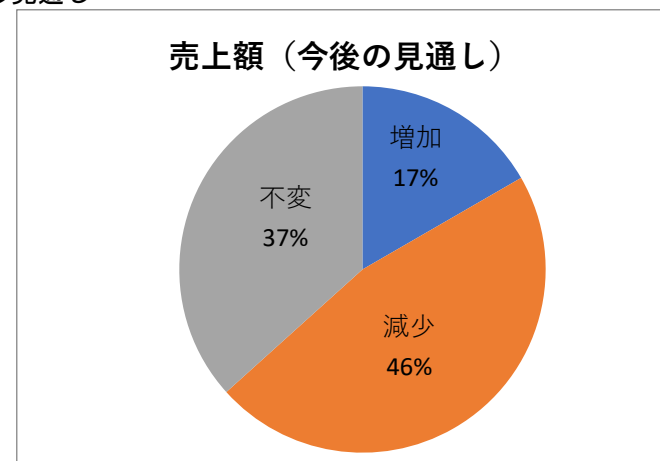
問1. 平成30年7月~9月と比較した令和元年7月~9月の「売上額」

増加	19
減少	27
不変	14
未回答	0



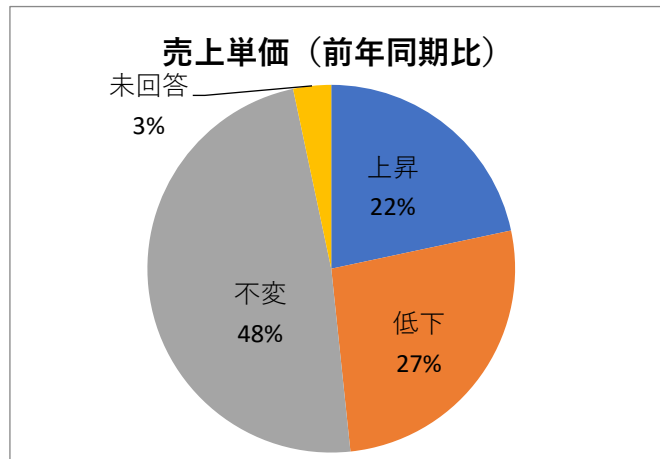
令和元年10月~12月の「売上額」の今後の見通し

増加	10
減少	28
不変	22
未回答	0



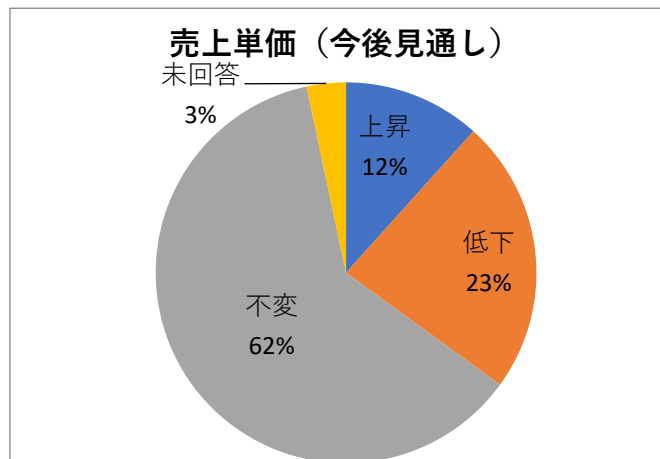
問2. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「売上単価(客単価)」

上昇	13
低下	16
不変	29
未回答	2



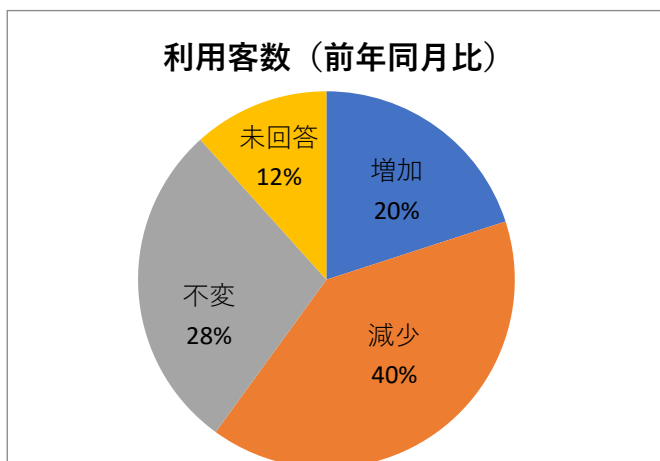
令和元年10月～12月の「売上単価(客単価)」の今後の見通し

上昇	7
低下	14
不変	37
未回答	2



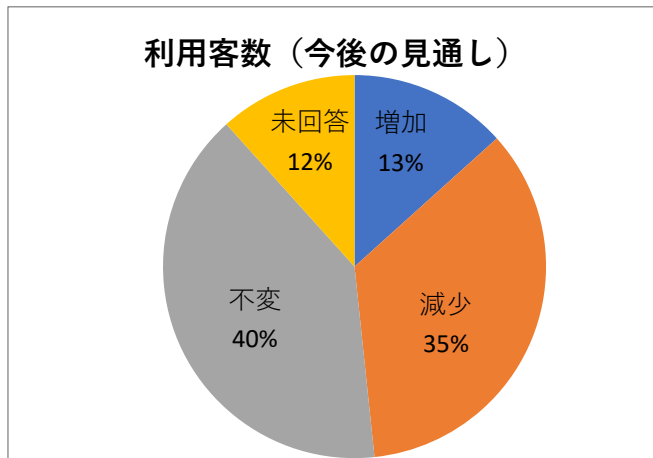
問3. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「利用客数」

増加	12
減少	24
不変	17
未回答	7



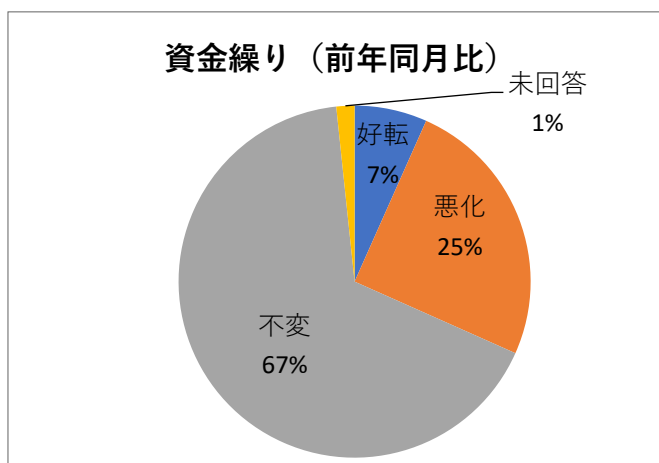
令和元年10月～12月の「利用客数」の今後の見通し

増加	8
減少	21
不変	24
未回答	7



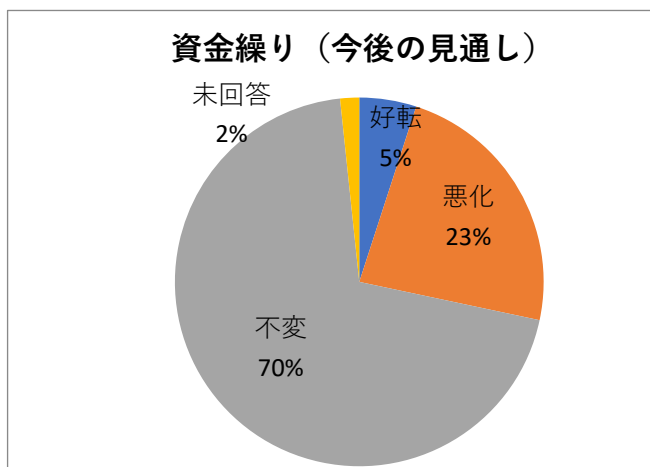
問4. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「資金繰り」

好転	4
悪化	15
不変	40
未回答	1



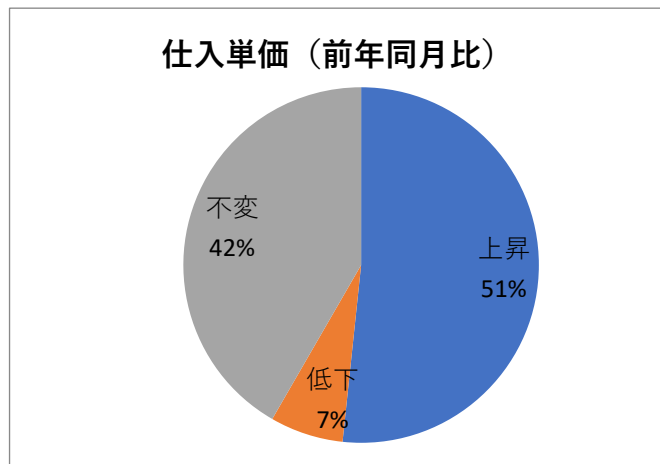
令和元年10月～12月の「資金繰り」の今後の見通し

好転	3
悪化	14
不変	42
未回答	1



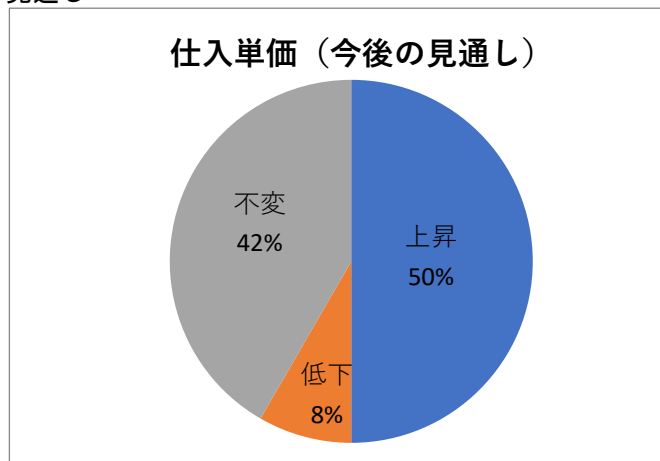
問5. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「仕入単価」

上昇	31
低下	4
不変	25
未回答	0



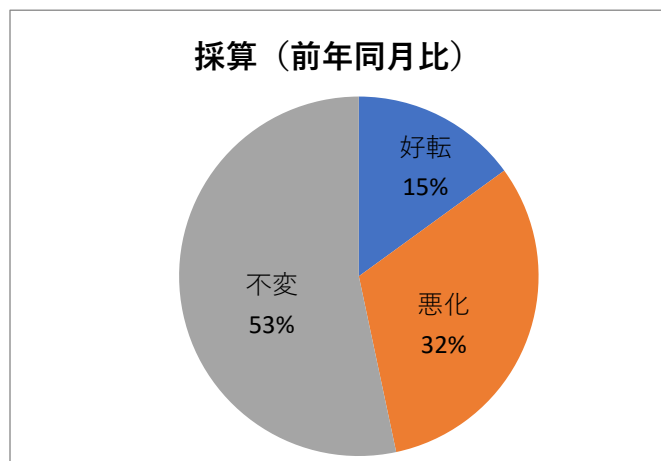
令和元年10月～12月の「仕入単価」の今後の見通し

上昇	30
低下	5
不変	25
未回答	0



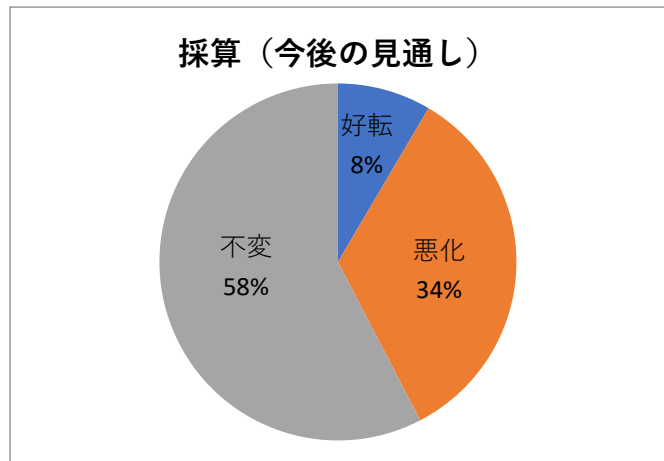
問6. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「採算」

好転	9
悪化	19
不変	32
未回答	0



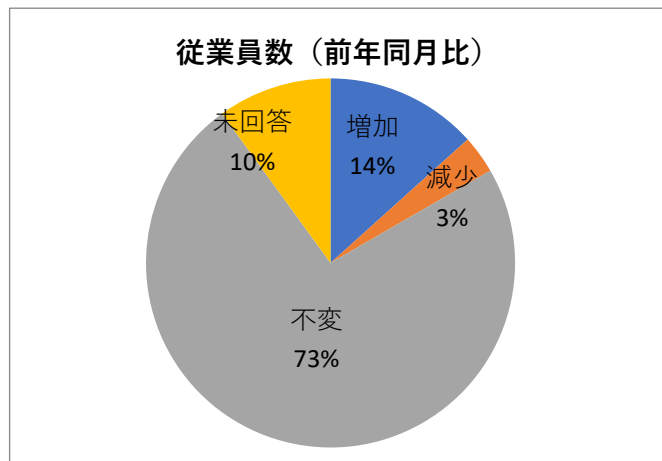
令和元年10月～12月の「採算」の今後の見通し

好転	5
悪化	20
不変	34
未回答	1



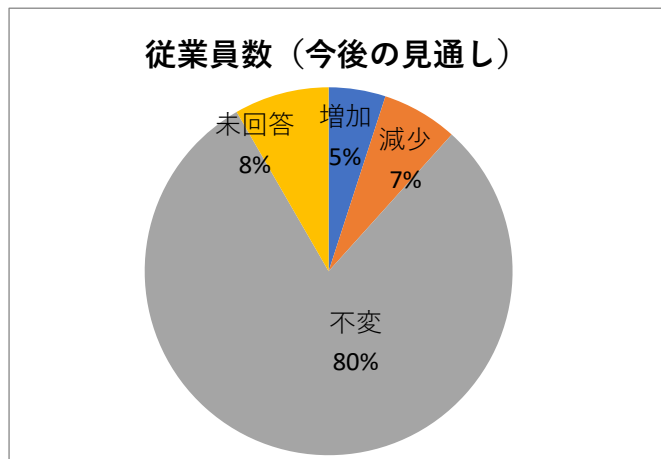
問7. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「従業員数」

増加	8
減少	2
不変	44
未回答	6



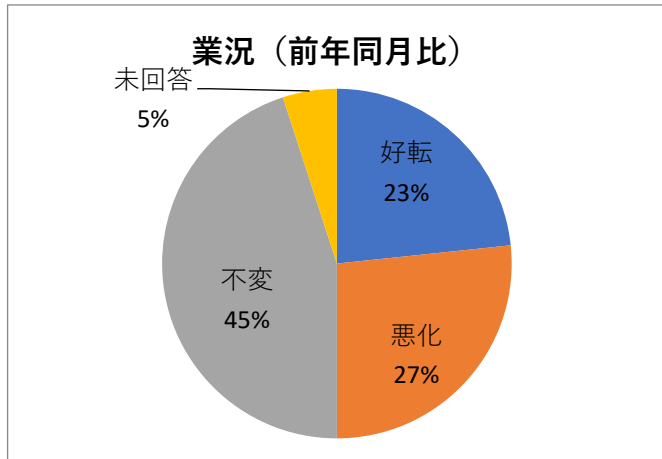
令和元年10月～12月の「従業員数」の今後の見通し

増加	3
減少	4
不変	48
未回答	5



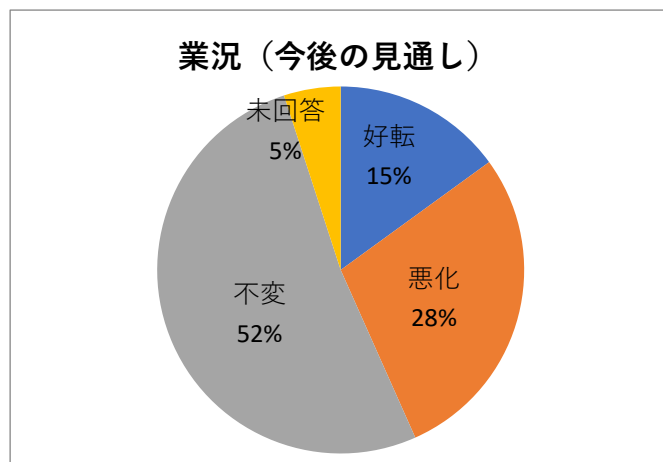
問8. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「業況」

好転	14
悪化	16
不変	27
未回答	3



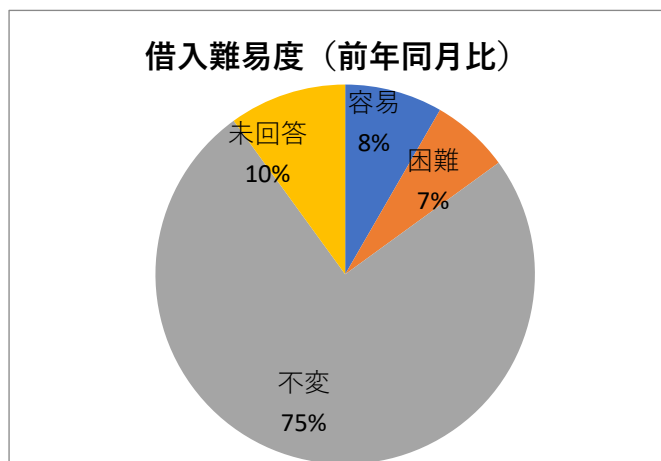
令和元年10月～12月の「業況」の今後の見通し

好転	9
悪化	17
不変	31
未回答	3



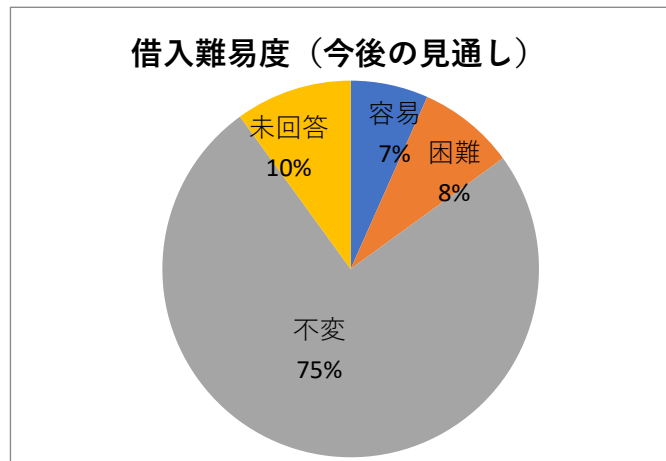
問9. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「借入難易度」

容易	5
困難	4
不変	45
未回答	6



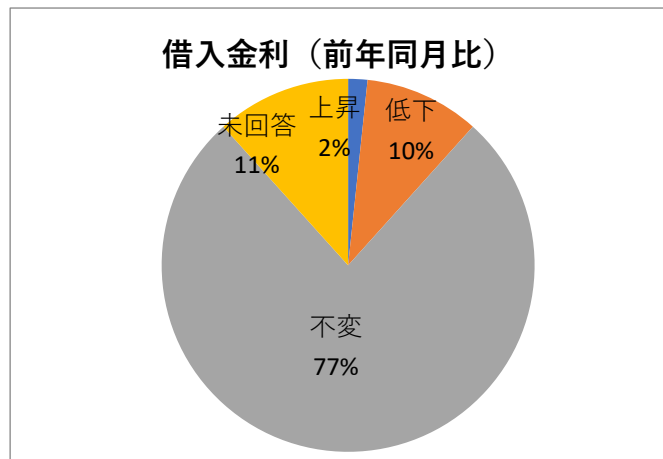
令和元年10月～12月の「借入難易度」の今後の見通し

容易	4
困難	5
不変	45
未回答	6



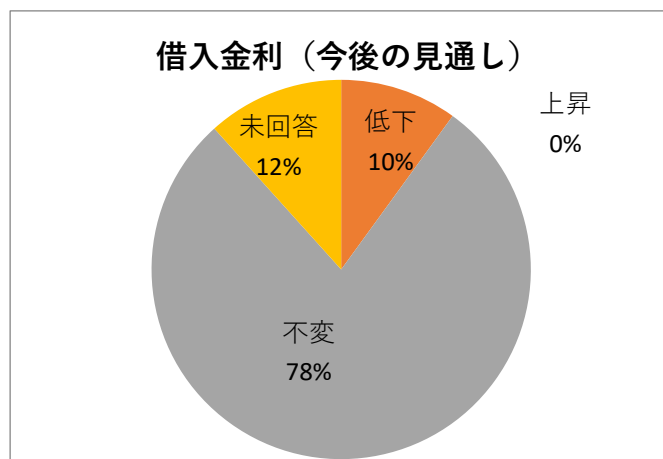
問10. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「借入金利」

上昇	1
低下	6
不変	46
未回答	7



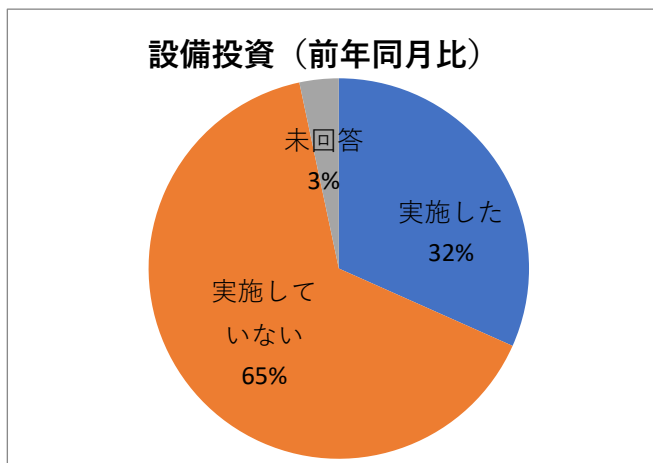
令和元年10月～12月の「借入金利」の今後の見通し

上昇	0
低下	6
不変	47
未回答	7



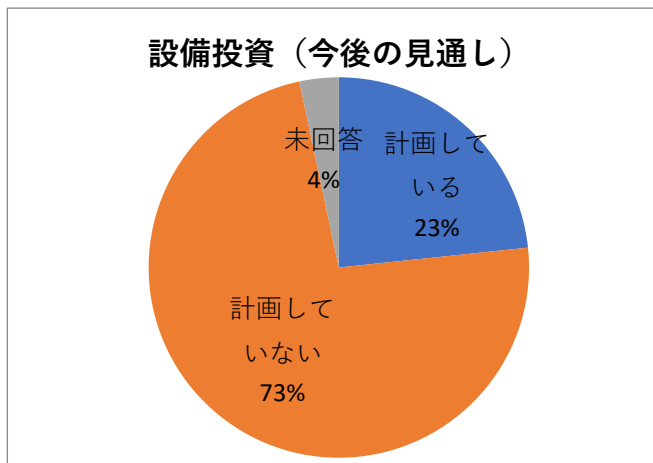
問11. 平成30年7月～9月と比較した令和元年7月～9月の「設備投資」

実施した	19
実施していない	39
未回答	2



令和元年10月～12月の「設備投資」の今後の見通し

計画している	14
計画していない	44
未回答	2



<現在、直面している経営上の問題点等についてのコメント>

軽減税率が混在しているのでややこしいことが多い、その事に経費が掛かるのはおかしい。

客層の変化で販売品目の見直しが必要になってきている

インバウンドが続くかどうか？

仕事の規模が大きい物件が多く自社のみでの試行（工期・人数）が困難になってきている。その為県内・県外から同業者をつれてきて試行をしなければならぬが単価等が上がってしまい、求められる予算に合わせる事が厳しい状況。今後職人の高齢化による人員の減少もあるので職人の育成も同時に進めていかなければならない。

人員不足、従業員（工員）の確保

人の確保が困難・外的な不確定要素により大ダメージを受けるリスクが内在する

観光客日本人の減少、欧米の方々の増加にて売上減少

事業承継、アルバイトの労務管理、節税対策

消費税増税後の影響が不安（見通しが立たない）

人事制度の構築